

1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1／100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／100（1％））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、短期（整備計画河道）の嘉瀬川、祇園川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1／100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／100（1％））の降雨に伴う洪水により嘉瀬川、祇園川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和28年6月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和4年4月27日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
武雄河川事務所：嘉瀬川水系嘉瀬川、祇園川

(3) 実施区間

- ・嘉瀬川
左右岸：佐賀県佐賀市大和町大字梅野字都渡城188番地先の国道官人橋から海まで
- ・祇園川
左岸：佐賀県小城市三日月町長堀江字堀江二十二1189番の2地先から嘉瀬川の合流点まで
右岸：佐賀県小城市三日月町五十四字深町709番地先から嘉瀬川の合流点まで

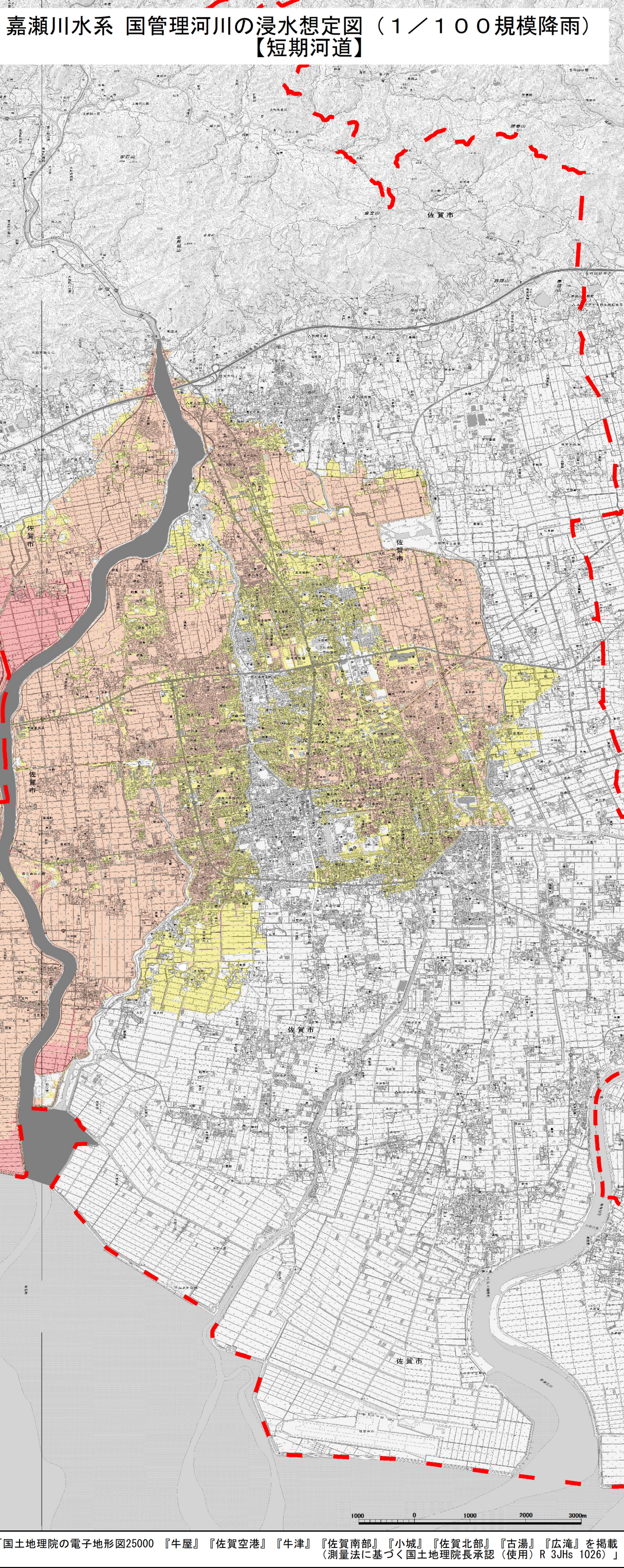
(4) 算出の前提となる降雨

- ・年超過確率1／100（嘉瀬川流域の2日間の総雨量615mm）

(5) 河道条件：短期（整備計画河道）

(6) 関係市町村 佐賀市、小城市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

	0.5m未満の区域
	0.5m～3.0m未満の区域
	3.0m～5.0m未満の区域
	5.0m～10.0m未満の区域
	10.0m～20.0m未満の区域
	20.0m以上の区域

「国土地理院の電子地形図25000 『牛屋』『佐賀空港』『牛津』『佐賀南部』『小城』『佐賀北部』『古湯』『広滝』を掲載（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 1026）」